

ウラル学会通信

第 66 号

2008 年 6 月発行

第 35 回ウラル学会研究大会について

第 35 回ウラル学会研究大会・総会は、7 月 5 日(土)に名古屋大学で開催されます。皆様ふらってご参加ください。当日の予定は次ページの通りです。

新幹線を名古屋駅で下車してから会場までは、45 分程度かかります。

J R 名古屋駅で、名古屋市営地下鉄東山線にお乗換え下さい。新幹線からの乗換えには 10 分程度かかります。東山線は藤が丘行きにご乗車下さい。

途中、本山駅で乗換えとなります。名古屋駅から本山駅までの所要時間は約 15 分です。

本山駅からは、名古屋市営地下鉄名城線で、会場最寄りの名古屋大学駅まで一駅です。名城線は環状運転をしております。右回りの電車にご乗車下さい。

名城線は日中本数が少ないため、本山駅での乗換えに 10 分程度かかる場合があります。

名古屋

地下鉄東山線藤が丘行

15 分

本山

地下鉄名城線右回り

1 分

名古屋大学

名古屋大学駅から会場までは徒歩約 5 分です。名古屋大学駅には改札口は一箇所しかありません。改札口を出られたら、左に進み、1 番出口を出て下さい。出口を出るとすぐ道がありますが、その道を右に入ってください。直進して左手 2 番目の建物が、会場の文学研究科です。玄関を入られましたら、正面の階段を 2 階に上がってください。あとは、廊下の掲示に従ってお進みください。会場は、渡り廊下でつながった隣の建物(文系共同館)になります。

名古屋大学までの交通案内図、大学内の建物配置図につきましては、下記もご参照下さい。

http://www.nagoya-u.ac.jp/sogo/kyanpas_m.html(交通案内)

http://www.nagoya-u.ac.jp/camp/map_higashiyama/index.html(建物配置図)

なお、当日は、文学研究科内で別の学会も開催されておりますので、ご注意ください。

第 35 回ウラル学会研究発表大会プログラム

[日 時] 2008 年 7 月 5 日(土) 10 : 30 ~ 17 : 00

[場 所] 名古屋大学文学研究科文系共同館 2 A ・ 2 B (名古屋市千種区)

開 会 10 : 30

講 演 10 : 30 ~ 11 : 30

小泉 保

「フィン・ウゴル語の音声と形態について」

11 : 30 ~ 12 : 30

池田哲郎 (京都産業大学)

「ハンガリーの言語学とヨーロッパ」

昼 食

理 事 会

総 会 13 : 40 ~ 14 : 10

研究発表 14 : 10 ~ 14 : 50

小川誉子美 (横浜国立大学)

「大戦下フィンランドにおける日本語講座の展開と位置づけ
桑木務を迎えて 」

14 : 50 ~ 15 : 30

原 千晶 (大阪大学大学院)

「ハンガリー語動詞接頭辞 ki- の意味構造」

休 憩 15 : 30 ~ 15 : 40

研究発表 15 : 40 ~ 16 : 20

松村一登 (東京大学)

「エストニア語の動詞 joudma「～できる；至る」の多義性について
新聞記事コーパスに基づく研究 」

16 : 20 ~ 17 : 00

小泉 保

「知覚動詞の統語的構造について」

閉 会 17:00

大会終了後、会場近辺で懇親会を予定しております。お急ぎの方もいらっしゃると思いますが、懇親会にもぜひご参加下さい。

会費の納入について

ウラル学会の運営は、会員の皆様からの会費によって成り立っています。「ウラル学会通信」65号に同封の振込用紙をご利用ください。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、2008年度より、普通会費が3,000円から5,000円に改定されています。学生の方につきましては、従来どおり、3,000円をお願いいたします。なお、普通会費の他、一口10,000円で維持会費も募っております。ウラル学会の一層の発展のため、ぜひご協力をお願いいたします。維持会費ご納入の際は、お手数ですが、振込用紙に口数をお書き添えください。

過去に未納分がある方は、合わせてご納入いただければ幸いです。昨年度までの分につきましては、学生、一般問わず、年3,000円をお願いいたします。「会費規定」の第5条にありますように、5年以上会費を納入いただけない場合は会員資格を失うこととなりますので、ご注意ください。

会費払込先: 郵便振替口座 00870-9-120029 ウラル学会

ウラル学会会費規定

第1条 ウラル学会会則第5条および第7条の規定に従い、会員は毎年、年度末までに会費を納入しなければならない。

第2条 年会費の額は以下のとおりとする。

普通会費 学生 3,000円

一般 5,000円

維持会費 一口 10,000円

第3条 年会費は本会指定の郵便振替口座に払い込むものとする。

第4条 年度の途中で退会する場合であっても年会費は返還しない。

第5条 5年以上会費の納入がない者は会員の資格を失う。

第6条 本規定の変更は理事会および総会の議決を要する。

付 則 この規定は2008年4月1日より施行する。

事務局便り

1. 第11回国際フィンウゴル学会議について

5年に一度開催されている国際フィンウゴル学会議ですが、今回は2010年8月9日から14日にかけて、ハンガリーのPázmány Péter Catholic大学で開催されます。所在地はブタペスト近郊のPiliscsabaです。Webサイト<http://fu11.btk.ppke.hu/>をご参照ください。

参加登録の締め切りは、「ウラル学会通信」65号でご案内したように、5月31日でした。これから参加登録できるかどうかは不明です。何か情報がありましたらお知らせいたします。

なお、国際フィンウゴル学会議に合わせて、様々なプロジェクトが進行中ですが、そのうちの一つにUralic Typology Database Projectがあります。このプロジェクトでは、ウラル諸語の類型的特徴のデータベース化を目指しており、今年の9月26・27日にはウィーン大学で会議が開かれます。<http://www.univie.ac.at/urtypol/conf.html>をご参照ください。

2. 学会ホームページについて

ホームページのアドレスは<http://www.ural-gakkai.jp>です。ぜひ一度ご覧ください。

通信は添付ファイルで送ることもできます。郵送は不要という方は、お知らせください
また、転居など異動が生じた場合は、お手数ですが事務局までご一報ください。

[ウラル学会事務所]

〒573-0195 大阪府枚方市穂谷 1-10-1

関西外国語大学国際言語学部 井上紘一 研究室

[ウラル学会事務局(佐久間淳一)]

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学文学研究科言語学研究室内

tel. 052-789-2275

fax. 052-789-2272